

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中はひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。

元号が平成から令和へ変わった二〇一九年。皇室での様々な行事もようやく終わり、令和二年となりました。仕事で近くを通りかかる度に国立競技場が出来上がっていき姿を見てきましたが、ついに竣工。いよいよ東京オリンピックを迎える年となります。

さて、昨年のノーベル化学賞は、スマホや電気自動車に利用されている、リチウムイオン電池を開発した吉野彰先生が受賞されました。リチウムは軽くてパワフルなため、電極にリチウムを使って電池を作りたいと考えていた研究者は数十年前前からいたそうです。しかし、リチウムは、水に反応して爆発してしまったり、人体に有害であるといった理由で実用化までさらに時間がかかっていました。吉野先生は、負極に炭素材料(石油コークス)、正極にコバルト酸リチウムを用いて、(ちよつと難しい...)その問題を解決していったそうです。

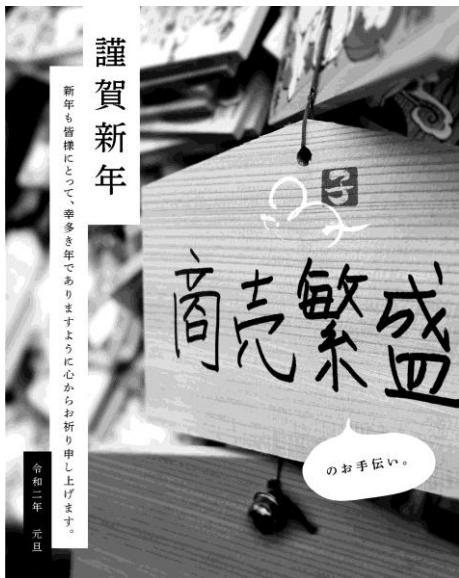
人もモノも、必ずプラスの面とマイナスの面があります。リチウム電池の実用化は、マイナス面を解決しないと前へ進めませんでした。自分の仕事ではどうでしょうか。マイナス面をすべてクリアにしてから次のステップに向かうか、それとも、マイナス面をある程度小さくしてからスタートするか、マイナス面は承知しているが、今はプラス面を伸ばすチャレンジをするか、今年も悩み、決断していく場面がありそうです。

今年の子(ねずみ)年。「寝ず身」||「働き者」と解釈され、せつせと真面目に働く縁起がよい干支の年です。今年もお客様が何を求めているのか、毎日、せつせと探りだしていききたいと思えます。

今年もご指導のほどよろしくお願いいたします。
令和二年 一月

ラップ東京株式会社

代表取締役 池谷朝洋



「ねずみ」にまつわることわざ

鼠が塩をなめる

鼠は小さいので油断しているが、小さい鼠でも少しずつなめていけば大量の塩になる・些細なことでも繰り返すと大変なことになってしまうというたとえ。キズは小さいうちに治しましょう。

子年の生まれの人

真面目にコツコツと働き、儉約家。適応能力が高く、コミュニケーションをとるのも上手いので人気者が多いとか。

一方、周囲に気を使いすぎてしまい、ストレスを溜めてしまうこともあるそうなので要注意！

今年も皆様のお役に立てるような「ラップニュース」をお届けします。お楽しみに！